

道央

働きながら 看護師を目指して

岩見沢市 田中佳也乃



看護学校入学式にお母さんと

私は今年で二十歳になり、現在は岩見沢市内の病院で看護助手として働きながら、岩見沢市医師会附属看護高等専修学校に通っています。高校時代、将来なりたい職業がいくつかあり、参考書や専門書の購入に奨学金を使わせていただき、おかげさまで、無事に看護学校に合格することができました。

高校時代の思い出は、色々なアルバイトをしながら学校に通い、学校生活や家庭の中だけでは学ぶことのできない社会とのつながりや人間関係の大切さ難しさを学ぶことができました。また、働くことによって得られるお金の大切さ



成人式に振袖で出席

を知りました。

母子寡婦福祉会では、奨学金の他にも、毎年日帰りのバス旅行があります。円山動物園やサクランボ狩り、砂川スイートロードめぐりなど、なかなか普段行くことのない所へ母子会のみなさまや、母弟たちと一緒に連れていっていただき、とても楽しい時間をすごさせていただいています。母子家庭の方でも、母子会の存在を知らない方もまだいらっしやるようなので、ぜひ知ってもらい参加してもらえたらと思います。

仕事をしながら看護学校に通うのは大変なときもありますが、看護師になる夢に向かってがんばりたいと思います。

道北

感謝を忘れず 人々に喜ばれる人に

富良野市 奥山 洸司

母子家庭になったのは、僕が5歳の時、小学校に入る前でそれから母は僕と弟を育てる為苦労したと思います。高校生になり、部活はバスケット部に入りました。三年間大好きなバスケットを楽しみましたが、いろいろと費用がかかり、一年間に2足バスケットシューズ、ユニフォーム代と出費も多く母に頼むのも申し訳なく思っていました。そんな時に母子家庭対象に奨学金の話があり、部活にかかる費用と、学校で使う物と冬服などの購入に使わせて頂きました。

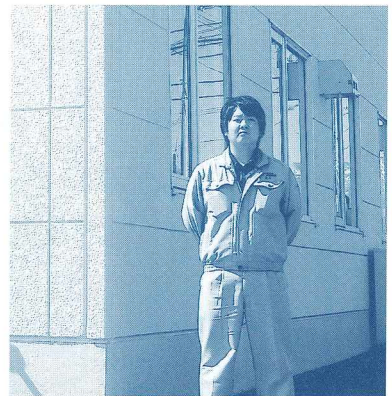
向かって かして翔く!



自宅で家族とバーベキュー (左側)

高校三年になり進路を決める時期に、最初は福祉関係に進もうと決めていましたが、先生が地元で良い会社があると言われ、将来の安定も視野に入れ、その会社に決めました。一名募集のところ別の高校の友達と争うことになり、心配しましたが、二人内定し今では部署は違えど同期としてお互い切磋琢磨し頑張っています。正直なところ母子家庭は就職の時不利だと聞いた事があり不安でした。就職して5年になりましたが、恵まれた環境の中で社会勉強をしています。

僕は長男なので少しでも親孝行したいと思っています。制度に助けられた事忘れず真面目に働き、人々に喜ばれる人になる事と、感謝の気持ちを忘れず生活して行きたいと思っています。



勤務する会社の前で